＜校訓＞敬愛 自主 剛健

未来橋

令和5年11月1日発行
高浜町立高浜中学校
Takahama junior high school

朝夕は少し肌寒く感じますが、日中はさわやかで心地よい季節となりました。四季の中でも、秋は暑さ寒さが程よく、とても過ごしやすい穏やかな季節です。

さて、２学期も折り返しの時期になりました。行事の多い２学期ですが、生徒たちは、志を高くもち仲間と共に挑戦し続けています。そして、一つ一つの行事を終えるごとに確実に成長しているように感じています。中学生として、それぞれの学年でやるべき事が明確になってくるのもこの時期です。行事を通して得られた確かな成長と深めた仲間との絆を自信に、更なる活躍が期待されます。

福井県中学校秋季新人大会

10月13日（金）～10月28日（土）に福井県中体連新人大会が行われました。本校は、バスケットボール競技（男子・女子）と卓球競技（全学年男子）、ソフトボール競技（女子）、柔道競技（全学年男子）、陸上競技（女子1500M）に出場しました。その中で、女子バスケットボール競技で第３位、そして、陸上競技（全学年女子1500M）で第２位、柔道競技（全学年男子）で第３位という素晴らしい成績を収めました。入賞した選手の皆さん、おめでとうございます。

高浜中学校の代表として、若狭地区の代表として、そして、支えてくれた仲間や家族の思いなど、様々な思いを背負って戦っている高中生の姿は本当に勇敢でした。また、会場内における競技関係者への爽やかな挨拶、力いっぱい仲間を鼓舞する姿など高浜中学校の選手たちの素晴らしい行動が一際目につきました。

バスケットボール競技（女子の部）		３位
陸上競技（全学年女子1500M）	正津 乙桜	２位
柔道競技（全学年男子）	今岡 翔磨	３位

生徒会役員　解任式・認証式

前期生徒会役員解任式と後期生徒会役員認証式を行いました。ここまで高浜中学校を引っ張ってくれた前期生徒会役員の皆さん、本当にこれまでご苦労様でした。執行部を中心に各専門委員会がそれぞれに新しい企画「スマイルアクション」を実施し、全校の絆を深めてくれました。９月に実施した高中祭でも、強いリーダーシップと企画力で全校をまとめてくれました。そして、全校生徒が笑顔でつながる一体感のある最高の行事になりました。前期生徒会役員の皆さん、そして、３年生の皆さん、ご苦労様でした。

そして、いよいよ、生徒会は後期の生徒会役員にバトンタッチします。先日行った立ち会い演説会では、立候補者と応援演説者の力強い演説がとても頼もしく感じられました。演説内容や態度など本当に素晴らしいと感動しました。新生徒会長のもと、全校生徒で力を合わせ、伝統ある高浜中学校をさらによりよい学校に発展させてください。

いつもお話しているように、学校の主役は生徒です。皆さん一人一人は、限りない可能性をもっています。そして、高浜中学校の先生たちも皆さんの可能性を信じています。

生徒会は学校を変える力を持っています。生徒会の力は、それほど大きな力を持っているのです。みんなで力を合わせ、知恵を絞り、支え合い、よりよい高浜中学校にしてください。２年生ならではの「新しい風」を吹かせてほしいと思います。期待しています。

出張音楽堂

福井県にゆかりのあるプロの演奏家の方々をお招きして「出張音楽堂」を開催しました。これは、福井県が中学生に向けてクラシック音楽のおもしろさや奥深さを体験し、多様な視点で物事を考える力や発見する力を身につけてもらうために行っている事業です。「越のルビーアーティストバンク」に登録されているプロの音楽家の演奏を体感することができました。

日本の唱歌をはじめ、ミュージカルナンバーやオペラアリアまで、世界の様々な音楽を堪能することができました。ソプラノ歌手の素敵な歌声や、サックス、ピアノの素晴らしい音色で、会場は大きな感動に包まれました。普段クラシック音楽に触れる機会の少ない生徒にも親しみやすく、聞きやすい曲ばかりで大変貴重な経験になりました。

探究学習　～関係機関や企業、異校種との連携～

総合的な学習の時間に取り組んでいる探究学習「高浜未来創造プラン」では、本年度もたくさんの地域の方々に力強いサポートをしていただいております。今回は、関係機関や異校種連携による活動を一部紹介します。

10月6日（金）に若狭高校探究科の生徒（先輩）が、１年生に現在高校で取り組んでいる探究学習「エシカル消費」について紹介してくれました。高校生の問いの立て方やアプローチの仕方、そして、まとめ方や表現の仕方などとても勉強になります。１年生は、起案書が完成し、いよいよ活動開始という時期なので、良いタイミングで高校生の探究学習がどのように進められているのかを学ぶ機会となりました。11月17日（金）には、２年生が若狭高校探究科の生徒から「食品ロスの現状とフードドライブの取組」について学ぶ予定です。また、「買い物難民を減らす」をテーマに取り組んでいる１年生探究チームはドローンの活用について、そして、「高浜町をPRするゲームづくり」に挑戦する３年生探究チームは、プログラミングについて舞鶴高専の生徒（先輩）や先生方からサポートをしていただいております。

また、「食品ロスを減らしたい」をテーマに取り組んでいる1年生探究チームは、たい肥づくりに焦点を絞り、「宙炭」を作っている企業やJAXA（宇宙航空研究開発機構）に問い合わせ、宇宙で栽培ができる土づくりについて探究学習を進めています。このように、探究学習高浜未来創造プランでは、関係機関や企業、異校種連携なども積極的に行い、サポートをしていただいております。生徒の創造力、発想力は無限大です。中学生の時期に、いろんな「人、もの、こと」との関わりや触れ合う機会を多く持たせたいと考えています。

心を一つに！　感動の校内合唱コンクール

10月27日（金）に校内合唱コンクールを開催しました。高浜中学校の生徒たちの頑張りは、ご覧いただいたとおりです。特別審査委員の先生からも、「高浜中学校の合唱コンクールは歌う技術だけではなく、歌う姿勢、学級のまとまりや一体感など最高レベルの合唱コンクールです。」とお褒めの言葉をいただきました。どの学級においても、本番当日まで様々な道のりがあったと思います。ここでは、本番に至るまでの裏側の部分を少しだけお伝えしたいと思います。

執行部が企画した「縦割り色別合唱交流会」の出来事です。本番さながらに１年生から順に合唱を発表しました。今年はすべての行事が初めての１年生。かしこまった雰囲気や先輩たちの熱い視線にプレッシャーを感じ、本来の実力が出ませんでした。一方でその後に合唱を披露する２年生と３年生はさすがです。中間発表にもかかわらず、いつでも本番を迎えられるといった仕上がりの良い学級もありました。しかし、ドラマはその後です。先輩の圧倒的な歌声に刺激を受けた1年生は、「大成長」を遂げていきます。２年生もまだまだ満足していません。自分たちの課題を話し合い、さらに上の合唱をめざし、学級を一つにまとめていきます。３年生は、中学校生活最後の思い出となる最高の合唱にしようと結束し、渾身の一曲に仕上げていきます。校舎内の至るところで、合唱の歌声が響き渡る、そんな１週間となりました。生徒会は学校を変える力を持っています。特に“先輩の影響力は大きい”と改めて感じさせられました。

本番当日の合唱もどの学級も本当に素敵でした。学級の力が結集された合唱に心から感動し、胸が熱くなりました。「合唱」をつくり上げるのは、実に大変なことです。よく“心を一つに”と言いますが、言うは易しです。そんな簡単にできるものではありません。だからこそ、合唱で心を一つにすることは尊いことであり、子どもたちを惹きつけるのだと思います。

審査員席にいる私は、歌い終わってステージから席に戻ってくる生徒たちの姿を見ていました。仲間と心を一つにして全力で歌いきった達成感や仲間と互いの健闘を称え合う笑顔や涙など本当に素敵な表情です。合唱を通して、学級の仲間の気持ちが一つになった瞬間を感じました。

下校の際にも、生徒たちが私に挨拶とともに声をかけてくれます。「校長先生、すべてを出し切りました。本当に気持ち良かったです！」、「歌いきった後に自分が感動して涙が出ました。」、「クラスの仲間に感謝です。最高の仲間です。」このようなエピソードは、枚挙にいとまがありません。“合唱づくりは山あり谷あり”様々なドラマが積み重なり、最高のステージになりました。高浜中学校の生徒たちに拍手です！！

保護者、地域の皆様にはお忙しい中会場にお越しいただき、そして、どの学級の発表にも賞賛とねぎらいの意を込めた惜しみない拍手をしていただき、ありがとうございました。今後も引き続きご支援とご協力を賜りますとともに、挑戦し続ける高中生に温かい声援を送ってくださいますようお願いいたします。